

第26回 宍粟市総合教育会議

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和7年7月17日 午前10時30分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第26回 宍粟市総合教育会議 会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和7年7月17日（木） 午前10時30分～11時20分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所 4階 402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

構成委員

福元晶三	市長	中田直人	教育長
片山繁樹	委員	中川まゆみ	委員
柴山佑太	委員	平田恵子	委員

事務局

大砂正則	教育部長	鳥羽千晴	教育部次長
大谷哲也	次長兼教育総務課長	中田 吏	学校教育課長
川本正史	こども未来課長	清水将道	社会教育文化財課長
石本貴昭	施設整備課施設整備係長	柴原宏二	山崎学校給食センター副所長
中尾善弘	次長兼まちづくり推進課長	仁尾雅浩	学校教育課副課長
福田由香	教育総務課主査		

1 開会

● 福元市長あいさつ

教育委員会から引き続いての総合教育会議となりますが、よろしくお願いします。

今年度になって1回目の会議です。

柴山委員、平田委員についても初めての総合教育会議となりますが、よろしくお願いします。事務局から説明があったかと思いますが、総合教育会議は、市長と教育委員による会議で、教育の進め方やあり方などお互いに共有しながら、それぞれの立場でできることをやっていきたいと思います。改めてよろしくお願い申し上げます。

宍粟市も20周年を迎え、記念式典を開催しました。教育委員の皆様にもご出席いただいたところですので。式典を無事に終え、次の新たなスタートを切ろうとなりました。

また、今回の4月の選挙で大きな争点でありました新しい総合病院の建築ですが、7月8日に起工式を行いました。いよいよ着工となりまして、令和10年3月1日の開院を目標として、準備を進めていくことになりました。昨日から地元自治会へ説明も始めておりますが、地元自治会の方が一番心配されていたのは、安全で安心な施工をお願いしたいとのことでした。城下地区全体に向けても説明会を行い、盆明けから工事に入る予定です。

加えて、今年は梅雨も早く開け、非常に暑い日が続いており、子どもたちへの対応等で先生

方も苦勞されているかと思います。まもなく夏休みであります、子どもたちにとって楽しい夏休みであればと思います。

少し長くなりましたが、このあとは、宍粟教育大綱と部活動の地域展開ということで、非常に大きな課題でありますけれども、よろしくお願い申し上げます。

2 協議報告事項

(1) 宍粟市教育大綱について

● 教育委員会事務局からの説明

別冊資料「宍粟市教育大綱」により、令和7年7月改訂での変更案（教育大綱に掲げる「宍粟市子ども・子育て支援事業計画」について、計画期間及び文言の変更があったことから、教育大綱に引用している当該箇所を変更する。）について、大谷次長兼課長が説明した。

● 委員からの意見及び質問並びに事務局からの回答等

(福元市長)

事務局から説明がありましたが、この件について、ご意見ご質問はありませんか。

(教育委員)

なし

(福元市長)

特にないようでありますので、この件につきましては、原案のとおり承認していただくことでよろしいでしょうか。

(教育委員)

異議なし

(福元市長)

それでは教育大綱の改訂について、原案のとおり決定させていただきます。

(2) 宍粟市部活動の地域展開について

● 教育委員会事務局からの説明

別冊資料「宍粟市部活動地域展開推進計画（案）」等により、部活動の地域展開にかかる推進計画案及びその計画を検討する宍粟市部活動地域展開推進委員会のこと等について、仁尾副課長が説明した。

● 委員からの意見及び質問並びに事務局からの回答等

(福元市長)

事務局から説明がありましたが、この件について、ご意見ご質問はありませんか。

では私からですが、推進委員会設置要綱と推進計画の12ページを見ますと、推進委員会の委員の任期は2年のようですが、この委員会はずっと設置される予定のものです。この推進計画がいつまでに決定される予定なのか、見通しがあるようであれば教えていただきたいと思います。

(中田課長)

委員の任期は、継続性等をふまえ2年としています。推進計画等が定まり、方針等についてもご理解いただけるようであれば、その段階で、推進委員会は廃止しようと考えておりますが、難しい問題でもありますので、令和10年の夏の段階でもまだ委員会が協議を継続している可能性も考え、複数年の任期としております。

また、スケジュールにつきましては、推進計画の12ページに示しているものがメインのものです。この案を委員と共有し、進めていく予定です。

(福元市長)

もう1点、PTAの役員さんが委員になられる予定ですが、単年度で変わられる役員も多いように思います。継続性のことを考えるとそのあたりの対策は大丈夫でしょうか。

(中田課長)

ご指摘のとおり継続性が大事ですので、この最初の2年任期の方につきましては、学年のことを考慮し選任する予定です。1回目の任期が終わったあとにつきましては、丁寧に引継ぎを行いたいと思います。

(片山委員)

昨年、中播磨・西播磨地区の教育委員会連合会の研修会の中で、静岡県掛川市の教育長から、掛川市における令和8年度からの部活動の地域展開、部活動の廃止に関してのお話がありました。宍粟市が計画しているような形で掛川市も事務局が関わって進められていますが、先行的な取組だと感じたのは、地域展開推進室という新たな部署を設置して、そこが中心となって推進していくことを明確にされていることでした。宍粟市では学校教育課が中心となって推進されていますが、専門の部署を設置して新しく取り組むという形が必要かと思いましたので、紹介させていただきます。

(大砂部長)

委員のご意見のとおりかと思います。現状のマンパワーで続けていくということはなかなか難しいと捉えています。統一的な対応や全体の調整等も必要になってきますので、組織として一体的に進めるのであれば、今ご意見のあった組織づくりが必要かと思います。先ほど説明させていただいたとおり、たくさんの課題があり、またその課題を解決していくためには財源・予算も必要となってきますので、それぞれの部署で進めていくのは難しい部分も出てくるかと思います。事務局の中でもいろいろな意見が出ておりますので、また市長部局としてもそういった組織づくりを一つの課題として捉えていただければと思います。

(福元市長)

市としても、委員が言われたように思います。大砂部長の言われたように教育委員会だけではなく、市として、組織のありようを含めて、教育委員会だけでは難しい課題かと思うので、推進体制を検討していく必要があると思います。掛川市は全国的にもいち早く生涯学習宣言をされるなど、生涯学習体系をかなり早い段階から整えておられる町でありますので、一度それらの部分を私なりにも研究してみたいと思い

ます。

今後どうなるかは未定ですが、どこかの部署がしっかりとリーダーシップをとって、それを明確にすることは大事なことだと思いますので、今日の課題として捉えさせていただきますと思います。

(中田教育長)

学校教育課で計画案を検討いただき、ありがとうございました。

いくつか確認をさせてください。

この計画の1番大事なところで目的と目標を共有しておく必要があり、この計画案で書かれていることは間違いないのですが、ただ、ここに書かれていることは子どもたちのことだけになっています。資料としてはこれでいいのですが、目標として、一つには子どものために地域展開を図ることで、持続可能な活動機会を確保していくということ、これは教職員にとっても大変意義があるということ、あわせて、これは子どもたちと教職員だけじゃなく、学校と地域の連携、市民の方々や各種団体に関わっていただくことで、市民総がかりで学校教育の部活動だけの問題じゃないという視点を持ちながら、先ほど市長がおっしゃられた生涯学習も含めた地域の活力となるような展開ができればありがたいと思います。

2点目に組織体制の構築として、組織の名称はどうなるかわかりませんが、内容を十分に検討していただき、これは部局横断で総がかりの取組にならざるを得ませんので、部署ごとの責任あるいは役割を明確にしながら、組織を構築する必要があると思います。

3点目に教員の兼職兼業についてですが、部活動が地域展開になっても、2割から3割の教員は今後も部活動に関わりたい、続けていきたいという思いを持っていますので、それは十分に保障してもらいたいと思います。兼職兼業の許可があれば引き続き関わっていくことができますので、この兼職兼業について十分に研究をお願いします。ただし、時間外労働となりますし、本業の教育活動への支障があってもなりません。兼職兼業で部活動と関わっていただくことは大事なことです、健康管理の面については十分に配慮していただきながら、進めていただきたいと思います。

最後に保護者負担の検討についてですが、保護者負担と公的支援の関係性について、国は保護者負担を軽減するため、国と県と市が応分に三者で支えると言っていますので、この8月に出る国の概算要求など十分に確認し、市としての補助もお願いしたいと考えています。また、国はこの秋にも保護者負担はどれぐらいがいいのか、一定の水準を出すと言っています。保護者の方の中には、部活動が地域展開となったら、参加できなくなるのではないかと不安をお持ちの方もいるかと思いますが、体験格差ができることはあってはならないので、慎重に取り組んでいきたいです。

この10月あるいは11月には計画を公表する予定ですが、教育委員会だけで難しいと思いますので、部局横断でしっかりと取り組めればと思います。

(福元市長)

市職員も副業制度があります。教員であれば教育委員会が適当と認めれば可能とす

る制度になるかと思いますが、十分に今回のこの委員会で内容を検討していただければと思います。

実は昨年、市長会から県へ部活動の地域展開に関しての要望を提出したときに、兵庫モデルみたいなものがないかということで、県教委や県議会にも聞いてみたのですが、なかなか答えが出ないです。したがって、私としては、これからの時代、地域を挙げて、子どもたちも含めて、あるいは高齢化が進んでいく中で社会参加をどうしていくか、あるいは地域住民も社会参加をして総がかりでこの問題を考えていくなかで、宍粟モデルができればと思っています。そういった意味で教育委員会だけではなく、全庁挙げて取り組む必要があると思っています。

もう1点、この要綱については、教育長に報告してということになっていますが、どういう形が一番いいのか、現事務局で検討していただいて制定できればと思います。また、今日の提案にあった地域展開推進室、これはすごくいいと思います。

市長部局と教育委員会がきっちりと連携して、地域総がかりで、宍粟モデルができればと思います。

それでは、次の会議については、今後の進捗状況の報告あると思いますが、改めて招集をさせていただきます。以上で総合教育会議を閉会とさせていただきます。

3 その他

なし

4 閉会

中田教育長が閉会した。